

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報広報委員長 立石ゆかり
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2021-22年度RIテーマ
会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするため

承認 1995.3.28
 会長 亀井 克典
 幹事 松尾雄二郎
 事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
 名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp

亀井克典会長 年度目標 : ポストコロナの時代に向けて、新たな親睦、交流、奉仕の活動をはじめよう

第1172回 例会 No. 9 令和3年11月11日 (木)	
財団月間卓話	
■ロータリーソング	「君が代」「奉仕の理想」
■出席報告	会員43名中20名出席
■出席率	48.78% 出席計算人数41名
■ゲスト	米山奨学生 リアンチャロンスック ウィーリンさん
■スピーカー	グローバル奨学生平和フェロー副委員長 田中如以さん

会長挨拶 **亀井克典**



この日曜日に名古屋国際会議場にて、2760地区大会がありまして、ご参加いただいた会員の皆様、ご苦労様でした。その前日にRI会長代理の四宮孝郎さん歓迎晩さん会と総

会記念講演がありまして、例年ですと会長と幹事とで参加ですが、コロナ対策で、人数を減らすということで、私だけ名鉄グランドホテルにて参加しました。だから私しか聞いてないのですが、総会記念講演では、作家の井沢元彦さんという方、「逆説の日本史」という、週刊ポストに1000回以上連載されている人気の作家さんですが、テーマは「信玄と信長」ということで、戦国武将に学ぶリーダーシップ論のお話でした。知らなかったのですが、この方は名古屋の出身だそうで、お父様が和合ロータリークラブで会長までされたそうです。ご本人は週1回定期的に集まるというのができない性分だということで、ロータリーの参加は遠慮しているということですが、講演とか卓話とかぜひ呼んでくださいという話でした。1時間の講演でしたが、織田信長の精神性とか独創性とかに関するエピソードをお話しされました。一番面白かったのは、戦国時代までの戦国武将の家の中の女性の扱いということで、だいたい女性の名前というのは、全く公にしないのがほとんどだったそうです。例えば武田家で言いますと有名な諏訪家のお姫様を側室にして、自分が滅ぼした家の姫を側室にして、その息子が武田勝頼という話ですが、その姫の名前が、全く公式に伝わっていない。だから作家が、勝手に「恋姫」とか勝手に名前を付けて物語を作っているという話で、そういう女性の扱いが一般的だったようですが、織田家

は女性の名前が歴史上に残っていて、たとえば秀吉の「おね」であるとか、信長の妹の「お市の方」とかその娘の「茶々」だとか「江」だとか、そういう名前が残っているということで、それが女性をととても大事にして登用していた。織田信長というのはそういう家であったということです。織田信長に仕えていたルイス・フロイドという宣教師が日本に滞在した時の様子を「日本史」ということで書いているのですが、その中で日本の女性は非常に大酒を飲む、夫に断りもせずに出かけるということが書いてあるということで、非常に驚いたそうです。そのエピソードとして、織田家が岐阜城から安土城に移ったときに、家臣団も当然移ったのですが、その直後に火事があり、単身赴任で岐阜から移ってきた家臣の家から火事が出たので、信長は激怒しちゃんと妻子を呼びよせないのは働きができないと、岐阜から一斉に妻子を呼びよせて単身赴任をやめさせたというエピソードがあるそうです。

ロータリーも女性の会員が10パーセントに満たないので、女性の活躍、会員増強ということですが、そういう意味で、織田家の姿勢というのは参考に、見習うべきところはあると思います。

来年のRI会長が史上初めてカナダの女性の方がされるということもありますので、当クラブも女性会員の比率が地区の中で多い方ですけれども、もっともっと増やして行けたらなあと思っております。

11月の祝福		
誕生日		結婚記念日
1日	恵利有可さん	
2日	後藤さんご夫人	
3日		河原さん、成田さん
4日		藤田さん
11日		
18日		堀江俊通さん
19日	岩田さんご夫人	
21日		矢野さん
25日		高橋さん
29日	西川 博さん	
30日	今村昌根さん	

カンボジア事業 有志寄付	
本日合計	44,000円
累計合計額	128,000円

ニコBOX	
今村さん 恵利さん お誕生日のお祝いをありがとうございます。	
●今月は財団月間です。地区グローバル奨学生・平和フェロー委員会より副委員長の中中如以さんにロータリー財団についてお話を伺いました。	
亀井会長、松尾幹事、岩田、堀江亮介、森田、田島、成田、安江、河原、加藤、長谷川、水野、古川、高山、川原小野（敬称略）	
●ニコニコ健康感謝 DAY 小野さん	
本日合計 44000 円	

米山奨学金贈呈
米山奨学金 11 月分をリアンチャローンズック ウィーリンさんに贈呈いたしました。



財団月間卓話
グローバル奨学生・平和フェロー副委員長 田中如以さん

みなさんこんにちは。
毎年のように財団プログラムを説明されていると思いますが、本日はこの 3 点について少しお話をしたいと思います。
まず、ロータリー財団の役割についてです。
シカゴは昔から五大湖からミシシッピー川につながる水運の拠点として発展してきましたが、1890 年代にはいと大陸横断鉄道の開通によってさらに急速に発展していきました。同時に、多くの人々がシカゴへ移り住んできたのですが、当時のシカゴの人口の約 8 割が外国からの移民だったそうです。このようにシカゴは東部から西武あるいは南部へ往來の拠点となり様々な人が行き来するにぎやかな場所でした。こうして一攫千金を目指す人々が入り乱れて、商業道徳が乱れていきます。金もつけ第一主義の精神がはびこっていました。そして間もなく 1920 年代から禁酒法の影響などでアルカボネに代表される、いわゆるギャングが暗躍する街になっていきます。シカゴのダウンタウンの南半分がまだ治安が悪くて、子どもの当たり屋がいました。
このような混とんとした社会情勢の中で、ビジネスマンにとっては信じられる仲間、信じられる取引相手が必要になってきます。そこで、信じられる仲間、信じられる取引相手たちと、互助会的な組織がつけられていくようになります。ポールハリスの呼びかけで、仲間内の集ま

りとして始まったロータリークラブも、その中にひとつでした。当時このような互助会的な組織はたくさんあったのですが、なぜたくさんあった互助会的な組織の中で、ロータリーは生き残って、発展したのでしょうか？それは一言でいえば、社会との接点を持ったからです。自分たちが持つ専門的な知識や経験、幅広い人脈などを活用して、よりよい社会づくりに役立つことをしたからです。

ロータリー発足当時の逸話を紹介いたします。ロータリーが発足しておよそ一年後、1906 年 4 月に、ポールハリスは特許弁理士ドナルド・カーターに入会を勧めました。しかし意外にも、カーターは入会を断ります。『職業を持って社会で生活している以上、職業を通じて社会に貢献することが自分が存在する証になるのであって、自分たちだけの利益にこだわって、社会的に何もしない団体に将来性も魅力もない』と勧誘を断ったそうです。しかし、ポールは落胆しませんでした。逆に、以前から会員間の互恵と親睦のみに終始することに限界を感じていたポールは、このことをきっかけに定款の改正に踏み切って、再度クラブへの入会を促しました。すなわち、シカゴ・ロータリークラブの定款に第 3 条を加えたのです。

シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める、というものです。

この第 3 条については、『まったく利己的な組織は持続性がない。もしも我々がロータリークラブとして生き残り、発展することを望むならば、我々はある種の市民に対する奉仕をしなければならない。この定款の改正は、我々の市民に対する奉仕を含めるように、シカゴ・ロータリークラブの綱領の拡大を目的としたもの』・・・と語られています。これはロータリーの象徴的な奉仕事業です。

1909 年に市役所と公立図書館の横に設置された 2 つの公衆トイレは、奉仕活動のスタートであり、ロータリーの「社会との接点」との始まりです。その一つが、2013/14 年度にスタートした「未来の夢計画」です。

「未来の夢計画」の特徴を一言で言えば、奉仕プロジェクトが「ロータリー財団本部主導」から「ロータリアン主導」に変わった点です。

つまり、ロータリアンが自ら事業を計画し、また自らの事業に寄付金を使えるようになったのです。いわゆる地区補助金、グローバル補助金と呼ばれているものです。より多くのロータリアンが奉仕事業に参加できるよう意図されたものです。

イメージで言えば、財団本部が主導して、世界全体の活動をカバーしていたものから

いろいろな地域のロータリアンたちが、独自のアイデアと発想で事業を計画し、実行する構図となりました。

ここで少し、活動の原資となる財団への寄付についてお話しします。

現在、地区では年次基金に 150 ドル、ポリプラス基金に 30 ドルを目標として呼び掛けていて、日本全体共通の目標でもあります。

これは世界での寄付上位5カ国です。つい2年ほど前までは日本はアメリカに次いで2番目だったのですが、昨年は韓国、インドに抜かれて4位となりました。

1人当たりのご寄付額は、日本は一人当たり197ドルとなっています。

一方、韓国は日本の2倍弱の378ドル、台湾に至っては日本の2.2倍強の436ドルとなっていますので、1人当たりの寄付金では、アジアの中でも日本は韓国、台湾に大きく離されています。

寄付金がどのように使われたかを示すグラフですが、2019-20年度のもので、総額3億6,200万ドルですから約400億円が支出されています。

このグラフの一番のポイントは皆様のご寄付のうち、91%がプログラム補助金とプログラム運営費に使われているということです。つまり91%が奉仕事業関連に使われています。

奉仕事業に直接関係しない、その他の9%のうち、5%が寄付推進費用、4%が一般管理費となっています。

そのうち、全体の4.2%がポリオ根絶事業に使われ、次いでグローバル補助金事業に26.5%

地区補助金事業に9.4%が使われています。

財団のモットーは「世界で良いことをしよう！」です。社会のニーズに応えるため、どうぞ財団のプログラムを活用してください。

次はエンドポリオについてお話しします。

実は、ロータリーのポリオ根絶活動は日本と非常に縁が深く、1978年の東京での国際大会で、当時のクレム・レヌーフ国際ロータリー会長が健康の向上、飢餓の撲滅、人と社会の発展を促進するための新しい補助金プログラム「3Hプログラム」を発表しました。

この3Hプログラムによる補助金事業第1号が、1979年にフィリピンで行われたポリオ・ワクチンの一斉投与です。

600万人の子供たちに投与されたのですが、その効果が大きいと評価され、1985年の「ロータリーの最優先プログラム」に採択されるに至りました。

その後、1988年にWHOやユニセフなどと共に「世界ポリオ根絶推進活動」(GPEI)がスタートしました。当時、世界中で約30万人の子供がポリオを発症していましたが、急速にポリオの発症国が減っていき、昨年はナイジェリアで根絶宣言が出されて、アフリカからなくなりました。

今はパキスタンとアフガニスタンの残すのみとなっています。

ここ数年は、パキスタンとアフガニスタンの国境沿いが発症源でした。山岳に住むいくつかの部族は、国境とは無関係に2つの国を往来していることでワクチン投与から漏れていまして、そこでロータリーでは国境沿いにワクチン投与のステーションを設け、山岳民族の5歳未満の子供を見つけるとワクチン投与を行ってきました。また、ワクチンを冷蔵保管して現場に届けるためのコールドチェーンを整備し、父親や母親たちにワクチン投与の大切さを説明して回りました。

また、ポリオワーカーへも教育を行いました。

一人でもポリオ発症者がいれば日本を含め、世界中の子供にワクチンを打たなければなりません。ですからアフガニスタンやパキスタンだけの話ではないのです。

逆に、ポリオが根絶されれば、世界中でワクチンを投与あるいは接種しなくてもよくなります。経済的にも大きな効果があります。

ポリオ根絶まで「あと少し」です。どうぞ引き続きご協力をお願い致します。

そして最後の話になりますが、ロータリー財団委員会の5つの財団委員会があります。資金管理委員会、資金推進委員会、補助金委員会、ポリオプラスVIT委員会、グローバル奨学生平和フェロー委員会。

私が出向しておりますローバル奨学生平和フェロー委員会は、グローバル奨学生および平和フェロー募集、選考、手続等のサポート、財団学友会の運営フォローを行っています。グローバル補助金奨学生は、ロータリーの重点分野に関する過程を海外の大学の修士課程を学ぶ方を中心に、返済不要の給付というプログラムです。世界のために役に立ちたいという志の高い若者が、奨学生として毎年選ばれています。毎年世界で最高130人までが平和フェローに選ばれています。

昨年度今年度のグローバル補助金奨学生は4名です。機会があれば報告会を行っていただき、楽しいお話しが聞けるのを楽しみにしています。



第5回 議事会議事録

2021年11月11日(木) 12:00~

出席者 (敬称略)

亀井、岩田、武山、成田、今村、長谷川、堀江亮介
森田、田島、磯部、松尾、加藤

議事録

1. 入会承認の件の件 承認
清水淳一氏 紹介者 高須優実、藤田守彦
ゲスト出席 … 2021年10月28日
異議申立期間 … 2021年11月11日~18日
職業分類 … 道路建設
2. 次年度地区委員会出向要請及び推薦の件 承認
3. カンボジア支援物資見積の件 承認
4. 10月21日特別委員会報告の件 承認
5. 例会予定表変更の件 承認
 - ・ガバナー公式訪問延期日程
2022年1月27日(休会を変更)
 - ・西名古屋分区IMの中止 2022年2月3日の例会休会
6. その他

ハイライトよねやま260号より抜粋

2022学年度奨学金申し込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2022学年年度のロータリー米山記念奨学金(学部・修士・博士/地区奨励)には、指定校563校(地区を超えた指定校の重複含む。前年度576校)から1,298人(1,427人)が推薦されました。

大幅な減少ではないものの、新型コロナウイルスの影響により依然として海外からオンラインで授業を受けている学生が多く、申し込みが0人の指定校や、地区が指定した人数に満たない推薦者数しか出せない指定校も出てきています。

被推薦者の国籍・地域は、中国54.2%(55.9%)、ベトナム13.8%(11.1%)、韓国8.8%(8.8%)、マレーシア3.5%(3.4%)、次いでインドネシア、ネパールの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程20.5%(20.4%)、修士課程33.3%(36.6%)、学部課43.1%(41.1%)となっており、大学院在籍者の応募が年々減少傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、9地区15校から計29人の応募がありました。

寄付金速報

10月までの寄付金は前年同期と比べて5.8%減(普通寄付金1.2%減、特別寄付金9.0%減)、約3,100万円の減少となりました。

依然として前年割れが続いているものの、10月単月としては、大変多くのご寄付をいただいた昨年に迫る1億6,300万円となっており、ご協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。

例会が再開され、また米山月間ということもあり、寄付状況は徐々に好転している様子です。

今年も残り2ヵ月を切りました。今後とも引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

バーチャルツアーで広島を学ぶ

10月30日、第2750地区(東京都)米山記念奨学委員会が「広島バーチャル研修旅行」を開催し、地区内の米山奨学生ら約50人が参加しました。

同地区では毎年、奨学生を対象とする日本文化体験旅行を実施していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を鑑み、オンラインでのツアー開催となりました。

当日は、参加者の自宅に届けられた広島銘菓を味わいながら折り鶴を折り、プロのガイドによる案内のもと、原爆ドーム・平和記念公園・宮島など、あたら

も本当にバスで広島を巡っているかのような没入感でした。特に、第2710地区の諏訪昭登バスターガバナーの講話は、自身の被爆体験や戦争の悲惨さ、そして、ロータリーが提唱する国際理解と世界平和、さらに、米山記念奨学事業の意義を語る感動的なもので、多くの参加者が真剣に耳を傾けて聞き入りました。

ツアーを終えた奨学生からは、「歴史教育は国によって異なるが、母国を離れて日本にいる私が歴史を正しく認識・理解し、友好関係を築くための懸け橋になることが重要だと感じた」、「帰国したら日本語教師として中国の子どもたちに自分が感じた真の日本を伝え、海の向こうに世界平和に向けて努力している方々が大量にいることを伝えたい」といった声が寄せられました。

子供と一緒に収穫体験 =2770地区=

第2770地区(埼玉県南東部)では11月4日、有志の米山奨学生・学友らがこども園の芋掘り行事を手伝いました。

同園では新型コロナウイルスの影響で父母たちへ行事補助を依頼することができず、先生方の負担が増えていました。そうした中、米山奨学生らが畑までの道のりを付き添い、子どもたちの安全を見守ったり、園児が掘りやすいよう畑の土をほぐすなどサポート。平日開催のため、参加者数は限られたものの、奨学生からは「こんなに素晴らしい体験をさせていただいて嬉しい」、「また子どもたちに会いに行きたい」といった声が寄せられました。

また、子どもたちも、「昨日のお芋掘りは楽しかった」、「お兄さんたちと掘ったお芋おいしかったよ!」と、口々に話していたということです。

同地区米山記念奨学部門委員長の藤嶋剛史氏は、「今もさまざまな行事が中止になるなか、屋外で開催できる行事を開催できてよかった」とし、今後も感染状況を注視しながら徐々に交流を再開したいと話しており、来年1月には初の試みとして、書き初め会を開催予定だとのこと。

もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで!

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。当会ホームページのメニュー、
寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。
特別寄付金については来年1月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請は不要です。

海外米山学友会総会情報

- ◆韓国◆ 2021年11月20日(土) 16:00~ Zoomにて開催(韓国学友会支援日本人奨学生の通訳有)
- ◆台湾◆ 2021年12月4日(土) 17:30~21:00 大直典華會館仙履奇縁廳 大会参加費 NT\$1,500



今後の例会予定

- 11月18日(木)第1173回例会「外部卓話」
- 12月2日(木)第1174回例会「年次総会」